

話しかけるチャンスを作る



国際交流員
アンドリュー・シューク

美しい山々や豊かな景色がいっぱいあり、穏やかな人々のいる那珂川町に着いた私は、9月に学校訪問を始め、那珂川町の遠くまであちこちに通っています。保育園、幼稚園、大きい学校や

小さい学校など24校に行ってきました。先生がたも大変親切です。

初めて出会った時、子どもたちは恥ずかしそうでしたが、一緒に話したり、ゲームをしたりすると、少しずつ慣れてきました。そのとき、私は小さかったころを思い出します。私も大変おとなしくて、恥ずかしがりやだったので、初めての人には声をかけられませんでした。そして、私も田舎に住んでいたもので、わかります。

この学校訪問は、海外から来た異文化をもっているゲストと触れ合える一つのチャンスです。異文化といっても、私たちは同じ人間であり、嬉しかったり、悲しかったり同じように感じます。日本人でも、海外の人でも遊ぶことや笑うことを楽しむことは一緒に

す。私は子どもたちが第2外国語として英語を話せるように、楽しく授業を行います。

授業では、子どもたちがカナダのメープルシロップの作り方を面白く、楽しく勉強し、おいしい試食もします。カナダのお金の話も盛り上がり、5ドル札についている絵は「子どもの遊び」というテーマがあります。その冬の場面でカナダの子どもたちも遊ぶのが好きだとわかります。ほかの授業では、一緒に音楽をすることで楽しくできます。ほとんど私がサクソフ、ギターやピアノを弾いて、子どもたちが歌ったり、リコーダーを吹いたりします。同じ言葉が理解できなくても、音楽というのは「Universal Language (ユニバーサル・ランゲージ)」ということで、私たちは感動させられます。

授業以外でよく行う国際交流は給食の後です。給食が終わったとたん、走ってグラウンドに行きます。子どもたちと一緒に鬼ごっこ、ドッジボールやソフトボールなどをしながら、非常に恥ずかしがりやな子から勇気をもって、年齢はいくつか、好きな食べ物は何か、身長は何センチかというふうな質問をしてもらいます。私たちに一番大切なのは、話しかけるチャンスを作ってあげることだと思います。



水道管の凍結防止策はお済みでしょうか？

これから、本格的な寒さを迎えます。皆さんの生活に欠かすことのできない水を供給する水道管は、寒さが大敵です。

次のような場所は、特に水道管が凍りやすいので凍結防止対策をしてください。

- ・「むき出し」になっているところ
- ・建物の北側で、日の当たらないところ
- ・風当たりの強いところ

凍結防止対策

○保温しましょう

「むき出し」になっている水道管や蛇口に、保温材や毛布などを巻きつけ、ビニールでぬれないようにして保温しましょう。

また、メーターボックス内には、発泡スチロール製の保温材や布切れなどをビニール袋に詰めて入れてください。

○水抜き栓を締めましょう

蛇口を開け、「水抜き栓」をキッチリ締め、水が出なくなれば完了です。

○電熱ヒーターの点検をしましょう

電源は入れましたか？耐用年数は過ぎていませんか？説明書をよく読み、点検してください。

凍結した場合

○ぬるま湯をかけましょう

蛇口が凍ったときは、上からタオルなどをかぶせて、ゆっくりとぬるま湯をかけてください。

破裂した場合

○町指定給水装置工事業者に修理を依頼しましょう

メーターボックス内にある止水栓を締めて町指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。工事料金は使用者負担ですが、漏水により水道料金が急増したときは、減免措置に該当する場合があります。上下水道課に連絡してください。

問い合わせ

上下水道課

☎0287-92-2002

北沢の不法投棄の解決に向けて (15)

今回は、県が那珂川町に計画している最終処分場の「多重安全システム」について説明します。

馬頭最終処分場は、1つの安全機能が何らかのトラブルにより機能しなくなっても、第2・第3の安全機能が働き、安全性を維持する多重安全システムの考え方を取り入れ、幾重にも安全対策を行った施設・設備を整備します。

また、供用開始後の運営につきましても安全対策を実施し、安全で安心できる最終処分場の運営に努めます。

1 遮水システム

埋め立て地の底面や斜面に遮水シートなどを重ねて敷き詰め、廃棄物に触れた水（浸出水）が地下水や川などに流れ出さないようにするシステムです。

馬頭最終処分場の遮水システムは、国の構造基準である2重遮水構造に加えて、ペントナイト改良土層などの国の基準を上回る幾重にもわたるバックアップ機能を備えた多層の遮水構造を採用します。

2 浸出水処理システム

浸出水処理システムは、廃棄物に触れた水（浸出水）を浄化し、きれいな水にしてから川に放流するためのシステムです。

馬頭最終処分場の浸出水処理システムは、一般的な水処理システムに加え、より安全性の高い処理水にするため、逆浸透膜処理を含めた高度処理工程を導入します。

3 受入管理

廃棄物の事前審査、搬入管理、展開検査など一連のチェックを行い、受入基準に

適合しない廃棄物の混入を防止します。

4 埋め立て作業

廃棄物の飛散防止や悪臭防止を図るため、セル方式（日々の廃棄物埋め立て終了後に即日覆土）及びサンドイッチ方式（一定の厚さごとに中間覆土）を採り入れま

す。また、強風時には埋め立て作業は行いません。

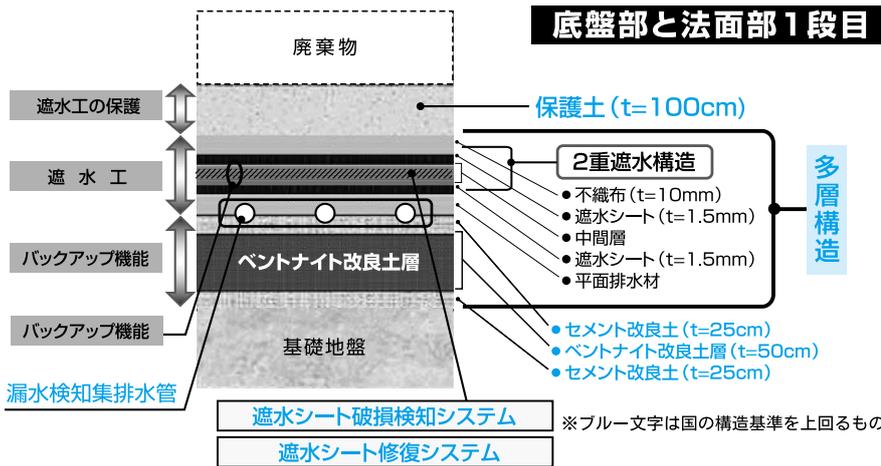
5 情報公開

廃棄物の搬入・埋め立てに関するデータや処分場の映像、モニタリングの結果（大気、水質、騒音、振動等）など処分場の運営全般について、透明性の高い、わかりやすい情報公開に努めます。

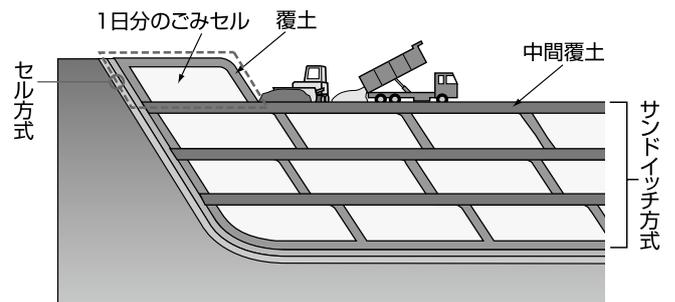
6 住民監視システム

住民の皆さまに処分場が適正に運営されているかを監視していただくために、住民による監視システムを導入し、信頼できる最終処分場を目指します。

底盤部と法面部1段目



▲ 遮水シート断面図



▲ 埋め立て工法 セル方式及びサンドイッチ方式